

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：南側用水路清流プロジェクト

20A-38

代表者：代表 遠藤 清

URL : <http://mokudosui.blog.fc2.com/>

1. 活動が必要とされた状況

350 年以上に渡り農業用水路として地域の水田を潤してきた南側用水路は、土砂の崩落やゴミの不法投棄により、悪臭の漂う排水路となってしまいました。上流より新鮮な水を導入する為には川床の土砂等を取り除くことが不可欠です。しかし、川床には厚さ 1m にも及ぶヘドロが堆積している為、川床に近付くことが出来ませんでした。そこで南側用水路の川床面に沿って木道を設置する計画を立てました。南側用水路沿いには様々な動植物の豊かな生態系が広がり、それらを壊さずに水流を復活させる為には、木道を作ることが必要でした。また、木道を使いエコツアーリズムや観察会を行い、地域の住民にも歴史ある水路の魅力が伝わっていくと考えられます。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

月 2 回のペースで清掃活動及びエコツアーリズムや木道作りを精力的に行いました。

見本地区として整備中の木道エリアは 200m 以上の距離に及び、木道沿いにベンチを設置致しました。遠方からの視察の方も時々ご案内する様になりました。杉戸宿案内人による「杉戸七福人巡り」のコースとしても丁度良いルートとなっており、木道を利用いただき好評です。8 月には南側用水路沿いにある永福寺の「どじょう施餓鬼」と南側用水路散策エコツアーリズムを行い 40 名以上の参加者と共に本地域の魅力に触れて頂きました。更に本年からは木道エリアの下流域約 500m に目を向け、水流復活の活動が始まりました。木道エリア上流の 400m には 4000 株以上の彼岸花を植えました。

3. 活動の成果

杉戸町との連携も順調に進み、杉戸町による最上流域の護岸工事も完了し木道域の終点地点まで、通年通水が可能となりました。新しく設置の木道により、木道域へのアクセスが向上し作業性が格段に良くなり、また視認性も高まり、南側用水路の魅力のアピールにも大きく役立つと思われます。本活動が少しずつ地域に浸透し始めた様に思います。今年の新しい流れとしましては、用水路周辺の住人の方が時々作業を手伝っていただけたり、見学に見えたりという事が増えて参りました。「彩の国埼玉環境大賞」の優秀賞も受賞することが出来、今後の活動に弾みをつけたいと考えております。

4. 今後に残された課題

サイサン環境保全基金様の助成により、第一次の木道ゾーンの完成となりますが、本事業の下流域は未だに水流の無い状態で問題山積です。今年度よりその下流域の活動も強化しておりますが、地元住民の理解を深めながらの事業が必要とされますので、木道を利用した説明会や観察会を増やし、水流の復活した南側用水路の魅力を知っていただき、この活動を応援して頂けるサポーターを増やしていく必要が有ります。